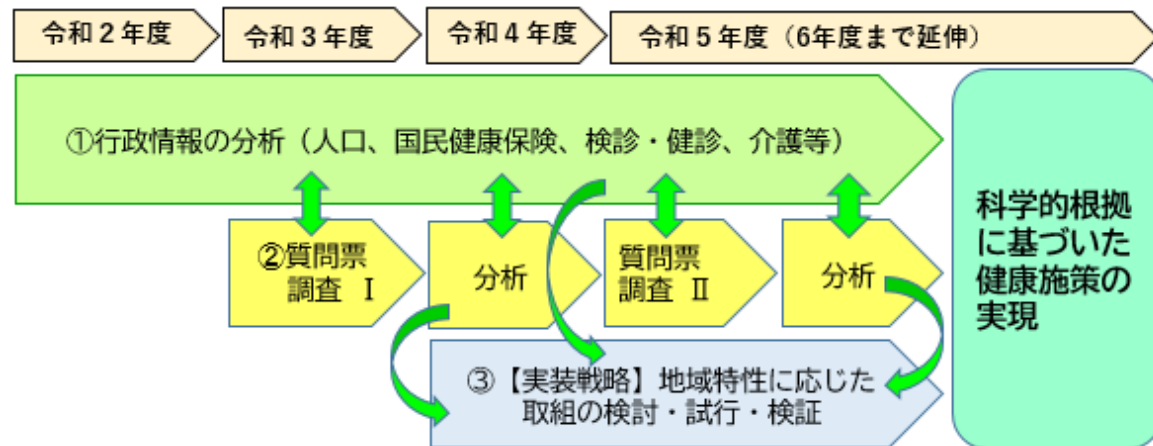


# 人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト(東邦大学との共同研究)

## 1 目的

区民の健康課題や地域特性を18特別出張所(地区)ごとに分析し、科学的根拠に基づく政策立案を行い、課題の解決と健康寿命延伸を目指す。

## 2 事業スケジュール(概要)



## 3 令和4年度の主な取組

### 1 行政情報分析

・令和2年度、3年度に引き続き、区が保有する行政データ指標を分析し、特別出張所管内の18地区単位で健康課題や地域特性を把握。

### 2 モデル事業の実施

・「若い世代からの糖尿病予防を念頭に置いた食習慣及び運動習慣の改善」をテーマに大森東及び鶉の木特別出張所地区でのモデル事業を実施。

(1)小学校への健康教育 : 5校 児童355名参加

(2)地域健康イベント : 計4回 延3,291人参加

(3)企業・事業所への健康活動支援 : 計4回 延180人参加

小学校への健康教育の様子



生活習慣病と血管の流れ方など学び  
血圧測定を体験

地域健康イベントの様子



実物大のフードモデルを使った栄養バランス測定や  
子どもから大人まで楽しめるエクササイズを開催

## 4 令和5年度の実施

### 1 行政情報分析

### 2 質問票調査(2回目)

・令和3年度(1回目調査)に回答を頂いた約12,000人に、新規として約24,000人を加えた計36,000人(18特別出張所地区ごとに各2,000人)を対象として実施。

### 3 モデル事業の継続実施(案)

・令和4年度実施の大森東及び鶉の木特別出張所に、大森西及び六郷特別出張所の2地区を加え、4地区で実施。

#### (1)小学校への健康教育

地区	大森東(継続)	鶉の木(継続)	大森西(新規)	六郷(新規)
小学校	大森第四中富	東調布第三嶺町千鳥	開桜大森第三	西六郷高畑志茂田
対象児童	主に6年生			
時期	9月以降			

#### (2)地域健康イベント

・各地区の出張所や地域の行事などに併せて実施。

#### (3)企業・事業所への健康活動支援

・産業支援施設等(工場アパート)にて実施。

## 5 検討課題

### (1)科学的根拠に基づく政策立案の実現

⇒東邦大学と協働しながら、データから課題を抽出し政策立案につながる様式や流れの構築を目指す。

### (2)地域に根差した(実装)健康施策としていく

⇒現状は区が主体のイベント型施策を実施しているが、地域に根付かせるには継続的な方法も検討していく必要がある。

### (3)集計・分析したデータを「大田区」として活用する

⇒他部局も含めた職員向け講習会を開催し、データを有効活用してもらう機会を創出する。

### (4)本プロジェクトを次期「おおた健康プラン(第四次)」へ反映させる

⇒モデル事業の効果や令和5年度策定予定の厚生労働省「健康日本21(第三次)」の動向などを見ながら継続すべき要素を検討し、反映させていく。